

# はくしんどう時間

## vol.3 特大号

「はくしんどう時間」は博進堂の「今」をお届けするニュースレターです。

# 博進堂の動き

屋根の吹き替え工事も終わり、今度は太陽光パネルの設置と敷地内にある松の木が剪定が行われました。今までの松の木は社員が切っておりましたが、この度、市内でも有名な株式会社松園コーポレーション様にご依頼しました。綺麗になった松の木と、屋根からキラリと光る太陽光パネルを是非ご覧ください。



## コロナで 気付く、 環境整備

ソーシャルディスタンスという言葉が定着し、博進堂でも社内のレイアウト変更が行われました。距離の確保とスムーズな導線を考慮することで、初めて社内の改善点に気付かされました。より良い職場づくりのためにも、引き続き環境整備に力を入れていきます。

経営部 野島

# 障害者雇用優良事業所として 表彰されました！

毎年9月は「障害者雇用支援月間」ということで、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構様が障害者雇用優良事業所や優秀勤労障害者の方の表彰を行ってられます。光栄なことに、弊社は令和2年度(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰努力賞を表彰していただきました。

民間企業における障害者雇用の法定雇用率は平成30年度に2.2%に引き上げられましたが、弊社の雇用率は6.4%(令和2年10月現在)です。会社として声高に「障害のある方を

雇用しよう」と推進しているわけではなく、いい方をご紹介いただいで採用していたら現在の状況になった、というのが本音です。たとえ障害を持っていても、仕事や職場との相性が合えば、障害を持っていないことはそれほど大きなハードルではないように考えています。それぞれ背景や能力が違うのは当たり前ですから、これからも多様な人たちが活躍できる働きやすい職場づくりを進めていきます。

経営部 清水



出典：https://www.jeed.or.jp/location/shibu/niigata/copy\_of\_koubo.html

# みなさまのお声 お待ちしております！

面白かった記事や、気になる疑問点など右記QRコードよりお聞かせください!!  
投稿していただいた方の中から抽選で博進堂のオリジナルグッズをプレゼントいたします!



※ご当選された方の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

## Facebookでも情報発信中!

色々な活動を日々発信中!

おすすめの  
本のご紹介!



博進堂Facebook



博進堂HP



書籍の購入は  
コチラ



はくしんどう時間 vol.3 特大号  
発行：株式会社 博進堂  
題字：小笠原 麗(アルバム営業)  
TEL：025-274-7755

## 第37回

# 一人一研究発表会

博進堂には年に1度「一人一研究発表会」(下記一研)というイベントがあります。これは先々代の社長清水義晴が考案したもので、社員が日々の仕事を通じた改善や成果を発表します。

第37回の一研は5チーム(4部署)の発表と研究者大和信春先生による講話をいただきました。他部門の活動内容を聞ける場は貴重であり、ここから新商品が誕生することもあります。実際に、今回の発表者の1人である生産部製本の松本さんは、過去にメモ帳の有効活用について発表し、その後他部門と連携して「まかないメモ帳」という新商品を誕生させた実績があります。今回の一研でも、各部門からそれぞれに工夫を凝らした発表がありました。



会場の様子

別室でZoomを通して  
閲覧している様子



## 成功の舞台裏には...

経営委員長 松本(生産部製本)

実は第37回は新型コロナウイルスの影響もあり、中止を考えていました。しかし、社長の「文化を途絶えさせるのは簡単。だからこそなんとか続けたい。」という言葉に賛同し、Zoomを活用して開催することを決めました。

当初社内でのZoom浸透率は低く、社員への説明や画面越しで空気感をどう伝えるかなど、沢山の課題がありました。それでも成功に導いたのは経営委員一人一人の「人間力」のおかげです。私は、高校時代から社会人まで演劇をしており、お客さんに喜んでもらうために幕があがる直前まで仲間と試行錯誤をしていました。その信念が、よりよい一研を作り上げるための、経営委員一人一人の發揮に繋がったのではないのでしょうか。



1,320円(税込)  
●オールカラー  
●月めくり・28ページ  
●A5サイズ(148×210mm)  
●壁掛けタイプ・一穴

左下の「書籍の購入はコチラ」よりご購入できます。

# 謹賀新年

本年も  
ぴいくらぶカレンダーの  
ご愛好のほど  
よろしくお願い申し上げます。

ぴいくらぶ 一同

まだまだ発売中!

ぴいくらぶHP <https://www.pi-club.jp/>

# 博進堂実績紹介

## 白山神社様

新年を迎え、神社に足を運ぶ方も多いのではないのでしょうか？ 新潟の古町に鎮座する白山神社には、安田瓦を用いた作品が見られます。その中の黄龍神社と松尾神社に続く「瓦道」と「瓦空間」のトータルデザインは博進堂が携わらせていただきました。

空間デザインのお仕事は今までにない領域でしたが、多岐に渡るお仕事をさせていただいております。今回はその一部をご紹介します。

### 作り手の気持ちが分かる「繋ぐ人」に

制作部 編集デザイン 野口

博進堂が様々なご要望にお応えすることができたのは、職人や専門家の方々のご協力あってこそです。また、自分自身も完成するまで何度も神社へ足を運び、関わる全員が同じ完成像をつかめるように、気持ちを一つにすることを心がけました。

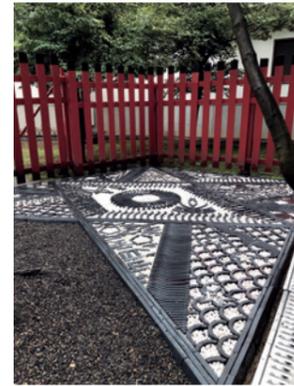
その甲斐あって、一つの目標に向かい力を出し合う関係性が築かれ、数々の作品を創り上げることができました。このお仕事を通じて、繋ぐ、コーディネートするディレクションの役割の重要性を実感し、博進堂が担うべき大切な役割であることに気づくことができました。お近くにお越しの際には、ぜひご覧いただけたらと思います。



天井デザイン&階段テラスデザイン



燭台(4月17日開催「ありが灯」)



瓦空間



手水空間



卵奉納用箱



黄龍神社と松尾神社に続く「瓦道」

ディレクション等のお仕事依頼・相談は本社営業部滝澤までお問い合わせください。

ゲンバビト 経営戦略本部 若槻の「現場人」インタビュー 1

## 想いを込めて学校アルバムをデザインする



制作部 編集デザイン 松葉大輔さん

松葉大輔さんは、学校アルバムのデザインを担当しています。博進堂にはアルバイトとして入社しましたが、その当時は、言われたことだけをやるのが仕事だと思っていました。その後、正社員となって学校アルバムの表紙デザインを主に担当するようになり、だんだんと仕事に対する考え方が変わっていったと言います。そのきっかけとなったのは、ある上司と一緒に仕事をすることでした。

その上司は、細かく指示を出すことせず、つねに自分で考えて行動することを指導、アドバイスされたそうです。そこから、だんだんと自分らしいデザインを表現することの楽しさや大切に気づくようになっていきました。

そして今では、お客様と直接コミュニケーションをとる機会が増え、松葉さんは学校アルバムのデザインの仕事に、リアリティと責任を感じています。また、昨年は、ある高校のアルバム制作に、生徒と一緒にアルバム編集委員として一から関わりました。その経験を経て「だれのため」に作るアルバムなのかを常に考え、なるべくその学校の雰囲気や空気を感じられる誌面になるよう、デザインをしていきたい」と強く感じたそうです。

このような作り手の熱い思いが込められた学校アルバムは、オンラインワンのアルバムとして生徒のみなさんの心に必ず届くと確信でき、とても誇らしい気持ちになりました。

ゲンバビト 経営戦略本部 若槻の「現場人」インタビュー 2

## 休日は陶芸教室の講師に変身！

制作部 編集制作 栗原良平さん

現在、栗原良平さんは、制作部に所属し学校アルバムの表紙デザインを担当していますが、博進堂に入社される前は陶芸教室の講師をされていた経験があります。そうした経歴を知った社長から「陶芸教室を開いてみないか？」という誘いがあり、昨年の10月、11月に計4回の教室を開催されました。栗原さんは、社長からの提案に初めは戸惑いがあったようですが、「自分が開催してもいいの？」という嬉しさもあり、開催を決意したと言います。

陶芸教室の講師を務めるのは5年ぶりということもあり、大勢の方に指導する事への心配があったのですが、いざ開催してみれば、そうした不安も消えたそうです。また、参加者の作品が栗原さん自身の作品づくりのヒントになったり、教えることで気づくこともあったり、多くの学びにつながった嬉しそうな話をいただきました。

今回の取材を通じて、私が感じたことは、博進堂だからこそ、陶芸と仕事の両方を楽しみ、両方で活躍することができたのだと思います。栗原さんは「楽しみを見つけたことが楽しみの一つである」と話されていますが、その点にもとても共感できました。単に事務的な作業のように仕事を行っていても、仕事は楽しくありません。仮に自己満足だったとしても、楽しく仕事をすることで、結果、仕事の質が上がることはたくさんあるように思います。

才能あふれる栗原さんの今後のさらなる活躍がともなうように思います。



## 生産計画の根幹となるTOCの考え方を学びました



TOCとは「Theory Of Constraint」のことで「制約条件の理論」と言われます。

物理学者、エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱した生産管理改善のための理論体系で、博士の著書「ザ・ゴール」は1000万人以上に読まれている世界的ベストセラーとなり、多くの企業でTOCが取り入れられ劇的な改善結果を出してきました。基本的なコンセプトは、「生産工程の中にはボトルネックとなる工程があり、それが全体のスループット(MQ)を決定する」というものです。

講師は株式会社ソフトパワー研究所様にお越し、弊社からは管理職クラスが7名参加させていただきました。「ザ・ゴール」にある、数ヶ月で利益が数倍、在庫も半減、リードタイムも短縮するTOC理論を、サイコロゲームと戦略MQ会計を組み込んだ決算システムを通じて学ばせていただきました。

参加者からは「ボトルネックの考え方が体験を通じて腑に落ちた」という感想が聞かれました。今年にはコロナ禍の影響もあり、例年とはモノの流れが変わってきています。しかし、状況の変化に右往左往することなく、大切なアルバムを間違いないお届けできるよう、今回の研修での学びを活かしていきます。

経営部 清水

## みんなでフォトアルバムをつくろう！ 東区の歴史をめぐる撮り歩き～木戸編～



2018年より新潟市東区歴史浪漫プロジェクトと連携して撮り歩きを実施しています。この企画の主な内容は、ガイドの方と一緒に写真を撮りながら歩き、区内の歴史について学んでいきます。また、昨年より写真家の上山益男先生より撮影ワークショップ「レクチャー」と好評をいただき、こちらも参加者の皆様から大変ご好評をいただいております。撮影した写真は、当社のスタッフからサポートを受けながら、アルバムの1ページを作成していただき、さらには写真展を開催します。今年も新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、無事に10月9日に開催できました。東区木戸エリアの商店街や工場をめぐる、撮り歩きをしましたが、「東区にこんな所があるのかと感動した」「生まれた故郷を再発見できた」「世界へ輸出している工場を直接見学できて良かった」など参加者の皆様から喜びの声も寄せられました。ガイドの方からも、歩きながらマチの歴史を学び、記録に残す活動の意義を評価いただいております。

経営戦略本部 堅田